

フレッシューズゼミB(柔道整復師コース)		演習	教授 川崎 一朗 講師 小向 啓介
科目カテゴリー	柔道整復師コースの必修科目	科目ナンバリング	12130102

### 1. テーマ

- ①大学生としての学習姿勢や方法の習得
- ②柔道整復師およびスポーツトレーナーという職業の理解

### 2. ゼミのねらい・概要

大学の授業は、学生各自が興味のある科目を選んで履修することが多くなるが、その中で1年次の必修科目であるフレッシューズゼミは、ホームルームにあたるものとして位置づけることができる。この授業では、柔道整復師コースの学生を対象に、将来の資格取得に向けた基礎的な学習指導およびキャリア指導等を実施し、初年度の大学生活全般をサポートする。1年次は大学生活をスタートさせる時期に当たることから、前期では大学という環境に慣れるための「大学生活講座」、4年間を通して切磋琢磨するクラスメイトとの交流を促す「コミュニケーション講座」、取得を目指す資格と将来の職業内容を知るための「キャリアナビ講座」から始め、その後は基礎学力の充実のための「小テスト」を実施する。また、担当する教員はクラス担任としてゼミを運営し、定期的に学生への個別面談も行う。

### 3. ゼミ計画

1. ガイダンス 履修指導と確認	8. 小テスト③(柔道整復学総論脱臼および関節損傷等)
2. 大学生活講座(図書館ガイダンス)	9. キャリアナビ講座③(柔道整復師とスポーツ障害)
3. 「コミュニケーション講座」、個別面談	10. 準備学習(人体構造学の上肢と下肢の筋骨格系)
4. キャリアナビ講座①(柔道整復師とトレーナー)	11. 小テスト④(人体構造学の上肢と下肢の筋骨格系)
5. キャリアナビ講座②(柔道整復師とスポーツ外傷)	12. 準備学習(人体機能学の神経系と感覚系, 内分泌系)
6. 小テスト①(医学漢字1)	13. 小テスト⑤(人体機能学の神経系と感覚系, 内分泌系)
7. 小テスト②(医学漢字2)	14. 準備学習(柔道整復学頭部体幹)
	15. 小テスト⑥(柔道整復学頭部体幹)

### 4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

キャリアナビ講座における課題レポートについては事前に作成したものを提出すること。また、確認テストについてはテキストの指定範囲の予習を行った上でテストに臨むこと(各1時間程度)。

### 5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

課題レポートについては個々のレポート内容に対して講評を行う。また、小テストについては準備学習時間を設け、①～⑥まで実施する。解答解説については、質疑があった場合には、口頭、メール等、速やかに全員へフィードバックを行う。

### 6. ゼミにおける学修の到達目標

本授業では、柔道整復師およびスポーツトレーナーという資格や仕事の内容を知り、将来に目指す職業としての理解を深めることを目標とする。加えて、国家試験で出題される主要科目(解剖学, 生理学, 柔道整復学)に関する学習方法の習得も目指す。

### 7. 成績評価の方法・基準

授業内の小テスト①～⑥は40%、期末試験に実施する確認テストは60%とし、この2項目より総合的に評価する。

### 8. テキスト・参考文献

野村巖 監修, 西川彰/小林直行 著, 『解剖学ワークブック』, 医歯薬出版, 2014年  
目崎登 監修, 西川彰/小林直行 著, 『生理学ワークブック』, 医歯薬出版, 2012年

目崎登 監修, 小林直行 編, 『運動器疾患ワークブック』, 医歯薬出版, 2012年  
その他の参考資料は, 必要に応じて授業中に紹介または配布する。

#### **9. 受講上の留意事項**

毎回の授業時にはテキストおよび配布資料を必ず持参すること。  
講義回数の3分の1以上を欠席した場合は不合格とする。

#### **10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当する。本ゼミは, 接骨院での臨床経験を活かして指導する。

#### **11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。